

# 尊とその伝達・伝播

武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科  
竹中 一平

# 本日の内容

- 自己紹介
- 噂とは何か？
- 噂の伝達
- 噂の伝播と社会的ネットワーク
- 噂への対処と風評被害

# 自己紹介

- 竹中 一平 (たけなか いっぺい) ippei\_t@mukogawa-u.ac.jp
  - 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 准教授
  - 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 心理学専攻修了 博士 (心理学)
- 興味のある事柄
  - あいまい状況における人間の行動全般
- 研究テーマ
  - 噂
  - 防災行動
  - ストレス

# コロナ禍における噂①

2020年2月3日 ダイヤモンド・プリンセス号  
乗客に横浜港で検疫実施  
2020年3月13日 新型コロナウイルス特措法  
2020年4月7日 7都府県に緊急事態宣言

- 2020年2月 「コロナでトイレットペーパーがなくなる」

『新型肺炎の影響でトイレットペーパーが今後なくなる』

『マスクとトイレットペーパーの原料は同じ』（江口・栗林, 2020）

- 主として、SNSで拡散した
- 日本全国でまとめ買いや買い占めが発生した
  - 『東京都内のドラッグストアの店頭には「トイレットペーパー・ティッシュペーパー完売」の貼り紙があった』
  - 『空になったドラッグストアの棚 = 28日、熊本市中央区』
- そもそもトイレットペーパーはなくなるらない
  - 『トイレットペーパーの原料は国産や北米産のパルプ。マスクに使われる不織布とは異なる。各社ともメーカー在庫は十分』

# コロナ禍における噂②

- 2020年2月～ 「〇〇で感染者が発生した」
  - 2月下旬：山口県宇部市にある企業(朝日新聞,2020a)
    - Twitter上で、当該企業に感染者がいるかのような書き込み多数
    - 「現時点でそのような事実はない」とコメント
  - 3月上旬：山形県の飲食店(朝日新聞,2020b)
    - ネットの掲示板で「感染を隠している」「両親は入院し、隔離」等
    - 被害届を提出し、偽計業務妨害の疑いで捜査
  - 4月上旬：岐阜県の飛騨市(朝日新聞,2020c)
    - 「市内で感染者が出ている」等の問い合わせが市役所に寄せられる
    - 無線放送で「根拠のないデマ」呼びかけ
  - 4月中旬：島根県松江市のスーパー、千葉県 の病院やスーパー
    - 松江：「感染者が勤務していた」とネットの掲示板や口コミ。問い合わせ多数(朝日新聞,2020d)
    - 千葉：「院長が感染した」「従業員が感染した」等、問い合わせ多数(朝日新聞,2020e)

いずれの事例でも、**感染者発生の事実はない**

# 噂の定義

『正確さを証明することができる具体的なデータがないままに、口から耳へと伝えられて、つぎつぎに人々の間に言いふらされ、信じられてゆく、できごとに関する命題』 (Allport & Postman, 1947)

『話し手と聞き手にとって重要か関心が高いとみなされ、真実と証明されずに世間に流布している情報』 (DiFonzo, 2008)

## • 噂を構成する要素

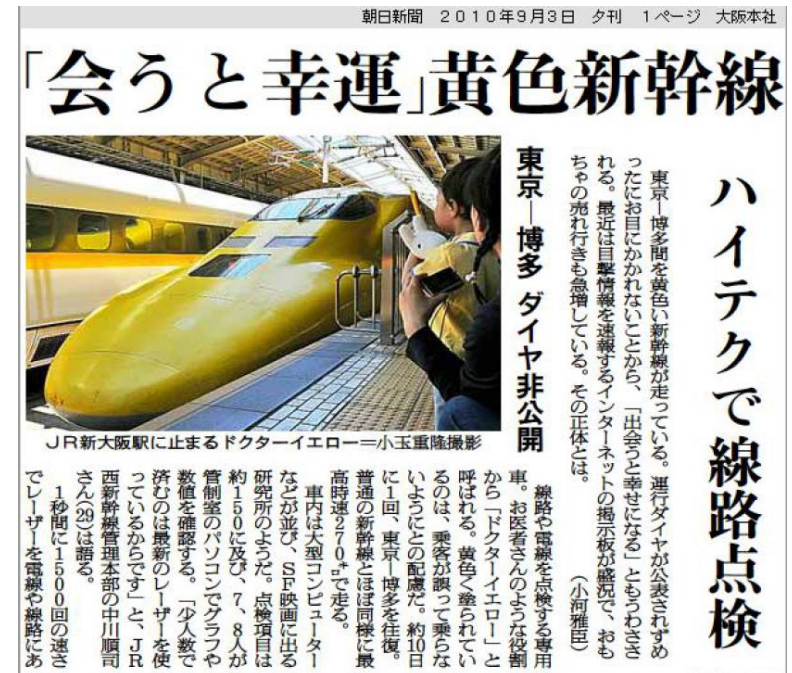
- ① 曖昧さが高く、真偽不明な情報
- ② 人々に信じられている情報
- ③ (多くの人にとって重要か関心が高いため)社会に広がっている情報

# 噂の類似概念

- 噂は、**同じ現象**が**異なる表現**で呼ばれている
  - 研究者は、それぞれ**特定の側面**を強調したいときに呼び分ける
  - 一般的にはほぼ同義で使われている
- 具体的には？
  - 流言（比較的広範囲に伝播する噂）、
  - うわさ（比較的身近な範囲に伝播する噂）
  - ゴシップ（人に関する噂）
  - 都市伝説（面白さを重視した噂）
  - デマ（悪意を持って拡げられた誤情報）
    - 意図的に特定の情報を「噂」にするのは困難
  - 口コミ（商品やサービスに関連する噂）、等

# なぜ噂は拡がるのか？①

- 語る動機に基づく分類
  - 情報としての噂：**有益な情報**として語られる噂
    - 「信じられる」ことが重要
    - コロナ禍における噂が代表的
  - 娯楽としての噂：**面白さ**や**怖いもの見たさ**によって語られる噂
    - 「信じられる」かどうかは二の次
    - 「都市伝説」や「怪談」
      - 例) 「黄色い新幹線に出会うと幸せになる」(朝日新聞,2010)



両者の噂では、噂の伝播に関連する要因が異なる



# なぜ噂は拡がるのか？②

## • 情報としての噂の伝達

- 噂の伝達に影響する主要な要因。いずれも **高いほど伝達されやすい**

- **重要性**：その噂が多くの人にとって関心があるかどうか
  - コロナ禍の噂は多くの人にとって関心が高い

- **曖昧さ**：噂が発生する社会状況や噂自体が曖昧かどうか
  - 「ある組織内に感染者がいるかどうか」は、組織外の人々にとって曖昧

- **不安**：噂が発生する社会状況が不安な状況かどうかや、噂自体が不安を喚起するかどうか
  - 曖昧であることは不安を生じさせる

- **信用度**：その噂が信じられる内容かどうか
  - そもそも信じられない噂は、情報として有益ではない

# なぜ噂は拡がるのか？③

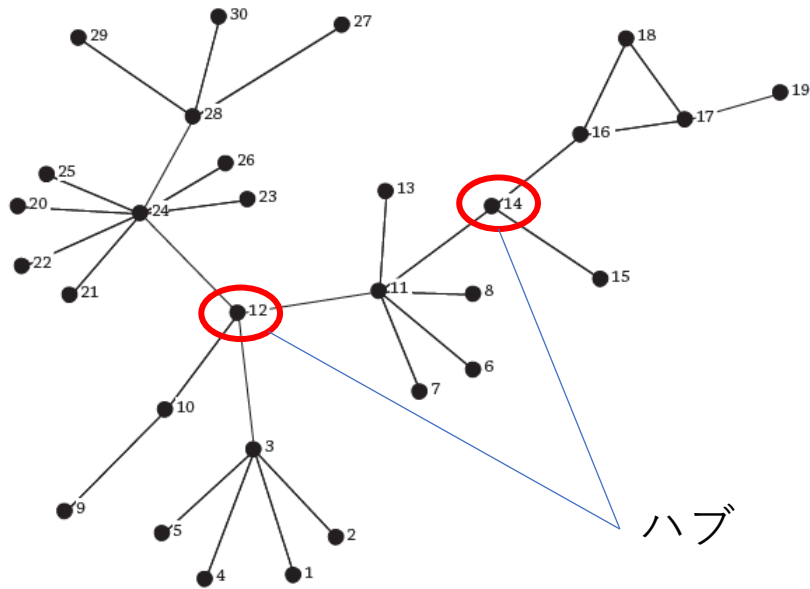
- 娯楽としての噂の伝達
  - 噂の伝達に影響する主要な要因
    - 怖いもの見たさ：少しの不安喚起と面白さ
      - 怪談が好まれるのと同様のメカニズム
    - 娯楽機能：相手と語る行為を楽しむ
      - 単に話し手にとって「面白い」かどうかだけではなく、聞き手が楽しめるかどうか重要

一般的な対人コミュニケーションにおける話題の選択と同様

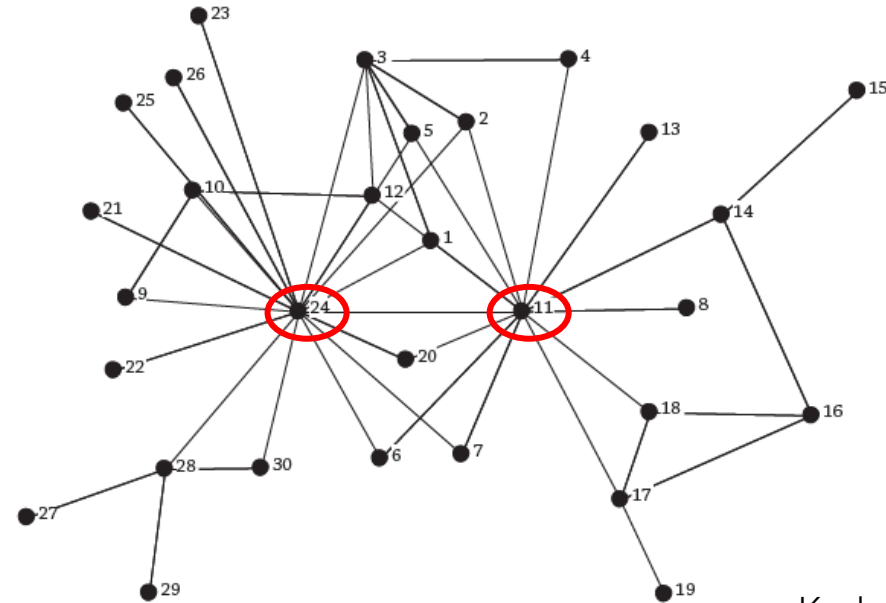
➡ 多くの人を楽しさを共感できる噂が、ゆっくり時間をかけて拡がっていく

# 噂の伝播と社会的ネットワーク①

- 噂はある社会における**特定の言説の普及**
  - **社会的ネットワーク**に沿って特定の言説が拡散する
    - チェーンのようにつながっていくものではない



優先的選択ネットワーク  
異なるネットワークが少数のハブでつながる



Kadushin(2012)

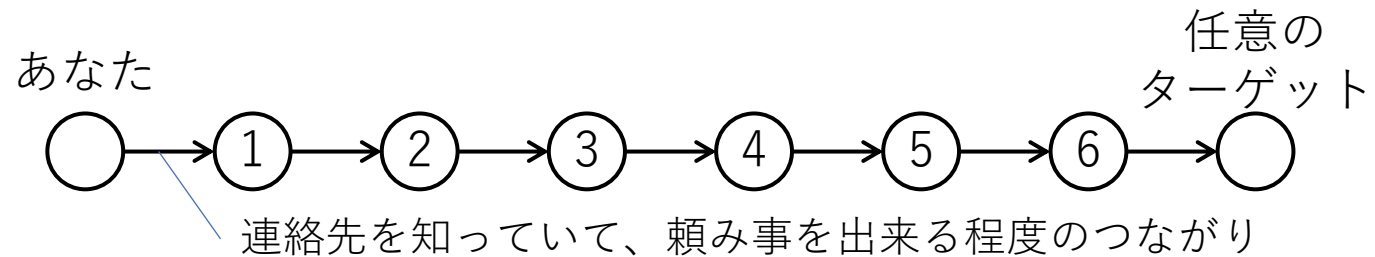
同類分布ネットワーク  
友人が多い人が同タイプの人とつながる

# 噂の伝播と社会的ネットワーク②

- 社会的ネットワークは狭い

- スモールワールド実験

- ある個人からターゲットへと伝言ゲームをつないだ場合、何人を介してつながるか？



- ある個人は、**6人程度**を介して世界中の誰にでも到達し得る

- アメリカの実験(Milgram, 1967) : ネブラスカ・カンザスーボストン間。手紙
- 日本の実験(三隅・木下, 1992) : 福岡ー大阪間。手紙
- メールを使った全世界規模の実験(Dodds et al., 2003)
  - インターネットの有無は仲介人数に影響しない
  - 国をまたいだ場合、仲介人数が1-2人増える程度

世間は狭く、**噂はどこにでも到達し得る**

# 噂の伝播と社会的ネットワーク③

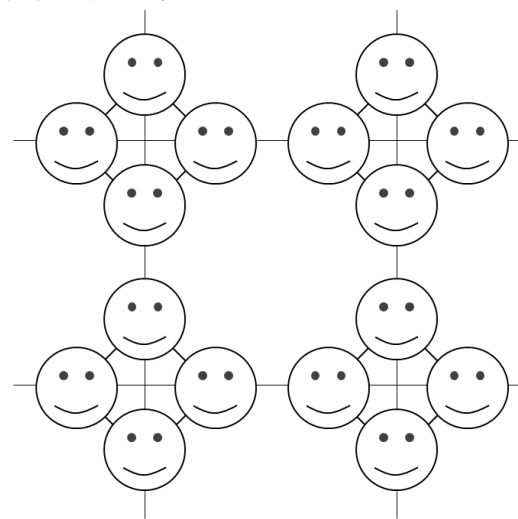
- 社会的ネットワークの**構造**が普及する噂に影響
  - 4種類のタイプのネットワークでつながる集団に、様々な噂を議論してもらった実験(DiFonzo et al.,2013)

↑  
高セグメント

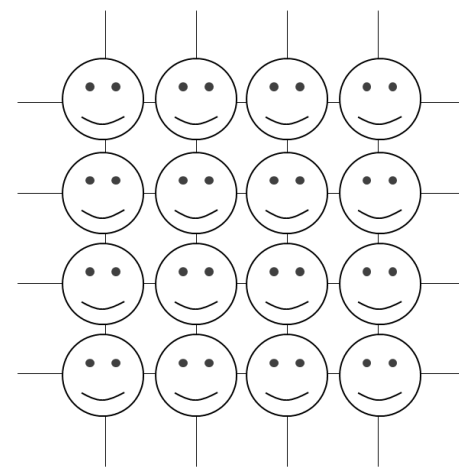
- ファミリー型
  - 多様な噂が普及する
- トーラス型、リボン型、ランダム
  - 特定の噂に集約しがち

ネットワークの**まとまり**(セグメント)が流布する噂の種類に影響する

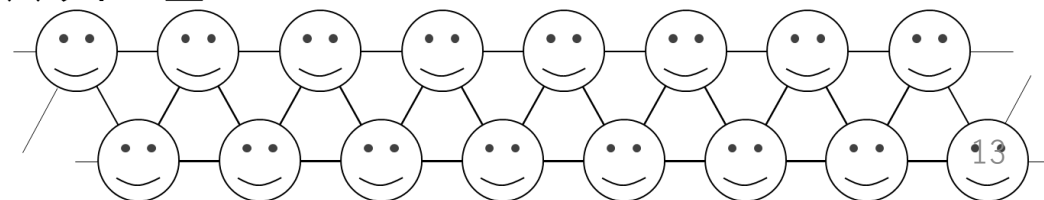
(1)ファミリー型



(2)トーラス型



(3)リボン型



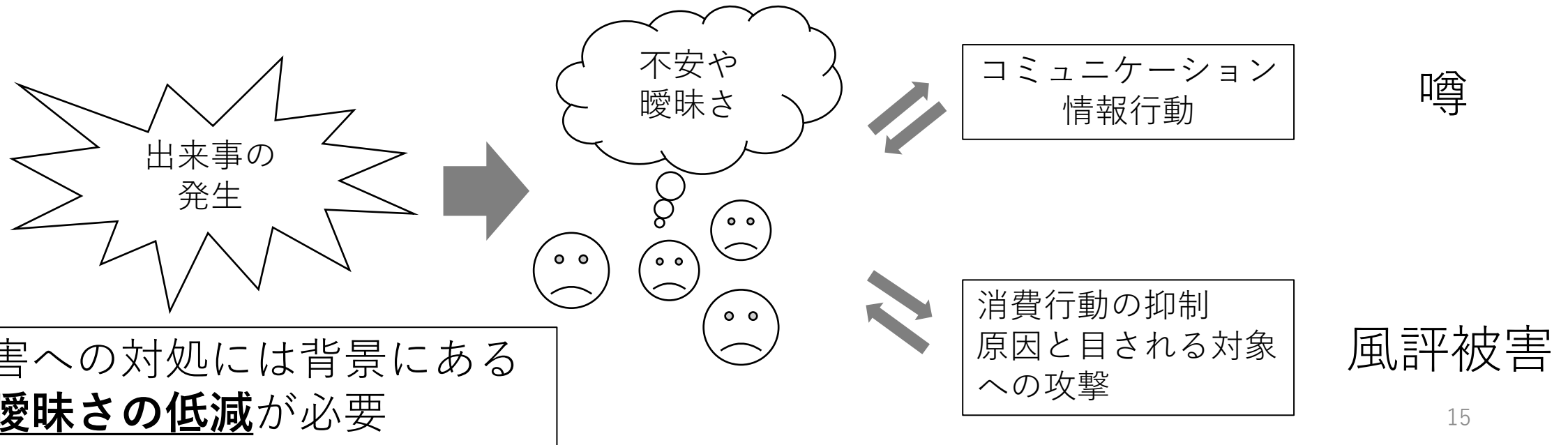
# 広がった噂への対処

- 「**事実を明確に伝える**」ことが有効
  - 企業を対象とした有害な噂への初期対処(Esposito & Rosnow, 1983)
    - ① 事実・情報収集
      - 噂の範囲の確認、噂に含まれる事実の確認、不安と曖昧さの原因の確認
    - ② 公式見解の準備
      - **事実**に基づき、**不安や曖昧さの発生源**を念頭に置いて、5W1H(誰、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように)に回答する公式見解を作成
      - 情報発信計画を立案
    - ③ 公式見解の発信
      - 可能であれば、噂の範囲をカバーしたり、噂の発生源に対応したりする
  - その後、**長期的な影響**を評価し、対応を検討する段階に移行(Kimmel, 2004)

# 噂と風評被害

- 風評被害とは？

- 「ある事件・事故・環境汚染・災害が大々的に報道されることによって、本来安全とされる食品・商品・土地を人々が危険視し、消費や観光をやめることによって引き起こされる経済的被害」 (関谷, 2003)
- 噂と風評被害は、**原因を同じくする別の現象**



# 引用文献

- Allport, G. W., & Postman, L. (1947). *The psychology of rumor*. New York: Henry Holt. (南博(訳) (1952). デマの心理学 岩波書店)
- 朝日新聞 (2010). 「出会うと幸運」黄色新幹線 ハイテクで線路点検 朝日新聞9月3日夕刊, 1.
- 朝日新聞 (2020a). 「感染事実ない」ネットデマ否定 宇部興産、新型肺炎巡り 朝日新聞3月1日朝刊, 19.
- 朝日新聞 (2020b). ネットにデマ「感染隠している」 飲食店の経営者、米沢署に被害届 新型コロナ 朝日新聞4月4日朝刊, 19.
- 朝日新聞 (2020c). 「感染者が出た」はデマ 飛騨市、無線放送で注意喚起 新型コロナ 朝日新聞4月9日朝刊, 21.
- 朝日新聞 (2020d). スーパー、新型コロナ感染デマ 売り上げ減、対応負担 松江 朝日新聞4月18日朝刊, 19.
- 朝日新聞 (2020e). 病院やスーパー、感染デマ標的に 売り上げ激減、電話も殺到 新型コロナ 朝日新聞4月19日朝刊, 17.
- DiFonzo, N. (2008). *The watercooler effect: An indispensable guide to understanding and harnessing the power of rumors*. New York: Avery.(江口 泰子(訳) (2011). うわさとデマ——口コミの科学—— 講談社)
- DiFonzo, N., Bourgeois, M. J., Suls, J., Homan, C., Stupak, N., Brooks, B. P., Ross, D. S., & Bordia, P. (2013). Rumor clustering, consensus, and polarization: Dynamic social impact and self-organization of hearsay. *Journal of Experimental Social Psychology*, 49, 378–399.
- Dodds, P. S., Muhamad, R., & Watts, D. J. (2003). An experimental study of search in global social networks. *Science*, 301, 827–829.
- 江口 英佑・栗林 史子 (2020). トイレットペーパー、品薄 デマ拡散、在庫は十分なのに—— 朝日新聞 2月29日朝刊, 34.
- Esposito, J. L., & Rosnow, R. L. (1983). Corporate Rumors: How They Start and How to Stop Them. *Management Review*, 72(4), 44-49.
- Kadushin, C. (2012). *Understanding social networks: Theories, concepts, and findings*. New York: Oxford University Press.(カドゥシン, C. 五十嵐祐(監訳) (2015). 社会的ネットワークを理解する 北大路書房)
- Kimmel, A. J. (2004). Rumors and rumor control: A manager's guide to understanding and combatting rumors. New Jersey: Lawrence Erlbaum Associates.
- Milgram, S. (1967). The small world problem. *Psychology Today*, 1, 61-67.
- 三隅讓二・木下富雄 (1992). 「世間は狭い」か? ——日本社会の目に見えない人間関係ネットワークを推定する—— 社会心理学研究, 7, 8–18.
- 関谷直也 (2003). 「風評被害」の社会心理——「風評被害」の実態とそのメカニズム—— 災害情報, 1, 78–89.